

# 東京都薬剤師会D I 新薬速報 No. 162

令和8年5月20日付 内用薬7品目、注射薬4品目、再生医療等製品3品目が保険適用されますので、その概要をお知らせします。

**[内用薬]**

◇は最小包装単位 [新医薬品情報] 2026.5.19

薬効分類番号	商品名(社名)	薬価¥	成分・含量	ホタル識別コード	* 効能・効果 / 用法・用量																														
399	<b>ソホノスカプセル1mg</b>	46,062.10	パロバロテン 1 mg /カプセル	PVO 1	<p><b>* 進行性骨化性線維異形成症</b></p> <p>通常、成人並びに8歳以上の女児及び10歳以上の男児には、パロバロテンとして下表の用量(連続投与)を1日1回食事中又は食直後に経口投与する。フレアアップ発現時には、下表の用量(フレアアップ時投与1~4週目)を1日1回4週間、その後、下表の用量(フレアアップ時投与5週目以降)を1日1回8週間(8週間経過時点でフレアアップが持続している場合は、フレアアップが消失するまで4週間単位で延長)食事中又は食直後に経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">連続投与</th> <th colspan="2">フレアアップ時投与</th> </tr> <tr> <th>1~4週目</th> <th>5週目以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成人及び骨格が成熟した小児</td> <td style="text-align: center;">5 mg</td> <td style="text-align: center;">20 mg</td> <td style="text-align: center;">10 mg</td> </tr> <tr> <td>骨格が未成熟の小児</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">体重10 kg以上20 kg未満</td> <td style="text-align: center;">2.5 mg</td> <td style="text-align: center;">10 mg</td> <td style="text-align: center;">5 mg</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">体重20 kg以上40 kg未満</td> <td style="text-align: center;">3 mg</td> <td style="text-align: center;">12.5 mg</td> <td style="text-align: center;">6 mg</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">体重40 kg以上60 kg未満</td> <td style="text-align: center;">4 mg</td> <td style="text-align: center;">15 mg</td> <td style="text-align: center;">7.5 mg</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">体重60 kg以上</td> <td style="text-align: center;">5 mg</td> <td style="text-align: center;">20 mg</td> <td style="text-align: center;">10 mg</td> </tr> </tbody> </table> <p>フレアアップ：異所性骨化の原因となる皮下軟部組織に生じる腫脹や腫瘤                      ☆本剤は、レチノイン酸受容体<math>\gamma</math>(RAR<math>\gamma</math>)を介してSmad*1/5/8のリン酸化を阻害することで軟骨細胞の分化阻害作用をもつ、レチノイン酸受容体<math>\gamma</math>作動薬である。                      *) suppressor of mothers against decapentaplegic</p>		連続投与	フレアアップ時投与		1~4週目	5週目以降	成人及び骨格が成熟した小児	5 mg	20 mg	10 mg	骨格が未成熟の小児				体重10 kg以上20 kg未満	2.5 mg	10 mg	5 mg	体重20 kg以上40 kg未満	3 mg	12.5 mg	6 mg	体重40 kg以上60 kg未満	4 mg	15 mg	7.5 mg	体重60 kg以上	5 mg	20 mg	10 mg
		連続投与	フレアアップ時投与																																
			1~4週目	5週目以降																															
	成人及び骨格が成熟した小児	5 mg	20 mg	10 mg																															
	骨格が未成熟の小児																																		
体重10 kg以上20 kg未満	2.5 mg	10 mg	5 mg																																
体重20 kg以上40 kg未満	3 mg	12.5 mg	6 mg																																
体重40 kg以上60 kg未満	4 mg	15 mg	7.5 mg																																
体重60 kg以上	5 mg	20 mg	10 mg																																
<b>ソホノスカプセル1.5mg</b>	57,114.90	パロバロテン 1.5 mg /カプセル	PVO 1.5																																
<b>ソホノスカプセル2.5mg</b>	95,190.70	パロバロテン 2.5 mg /カプセル	PVO 2.5																																
<b>ソホノスカプセル5mg</b>	190,381.30	パロバロテン 5 mg /カプセル	PVO 5																																
<b>ソホノスカプセル10mg (IPSEN)</b>	355,689.50	パロバロテン 10 mg /カプセル	PVO 10																																
劇 処方箋	◇14カプセル [14カプセル (PTP) ×1]																																		

薬効分類番号	商品名（社名）	薬価¥	成分・含量	ボタ識別コード	* 効能・効果 / 用法・用量
399 処方箋	<b>ドジョルビ内用液 100%</b> (Ultragenyx) ◇500mL×1瓶	734,770.00 /500 mL1瓶	トリヘプタノイン 1 g/g	—	<b>* 長鎖脂肪酸代謝異常症</b> 通常、以下の計算式を用いて算出した本剤の1日総投与量を4回に分けて経口又は経管投与する。計算式における「DCIに対する本剤の割合」は、10%から開始し、2～3日毎に約5%ずつ増加させる。目標値は25～35%とするが、患者の状態に応じて適宜増減する。 1日総投与量 (mL) = 1日あたりのカロリー摂取量 (DCI) (kcal) × DCIに対する本剤の割合 ÷ 8.3 (kcal/mL) ☆本剤は、TCAサイクルの機能改善作用をもつ、長鎖脂肪酸代謝異常症治療薬である。
429 劇 処方箋	<b>インレビックカプセル 100mg</b> (レコルダティ) ◇28カプセル [7カ プセル (PTP) ×4]	11,137.40	フェドラチニブ塩酸塩水和物 117.30 mg (フェドラチニブとして100 mg) /カプセル	FEDR 100mg	<b>* 骨髄線維症</b> 通常、成人にはフェドラチニブとして1回400 mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。 ☆本剤は、ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害作用をもつ、抗悪性腫瘍薬である。

[注射薬]

薬効分類番号	商品名（社名）	薬価¥	成分・含量	* 効能・効果
729 処方箋	<b>アムベルピスト静注2mL</b> <b>アムベルピスト静注シリンジ5mL</b> <b>アムベルピスト静注シリンジ7.5mL</b> <b>アムベルピスト静注シリンジ10mL</b> (バイエル) ◇〈2mL〉3バイアル、〈5mL〉5シリンジ、〈7.5mL〉5シリンジ、〈10mL〉5シリンジ	2,261 /2 mL1瓶 4,930 /5 mL1筒 7,098 /7.5 mL1筒 9,193 /10 mL1筒	ガドクアトラン水和物（無水物として） 515.8 mg/バイアル（2 mL） ガドクアトラン水和物（無水物として） 1289.5 mg/シリンジ（5 mL） ガドクアトラン水和物（無水物として） 1934.3 mg/シリンジ（7.5 mL） ガドクアトラン水和物（無水物として） 2579.0 mg/シリンジ（10 mL）	<b>* 磁気共鳴コンピューター断層撮影における下記造影</b> ○脳・脊髄造影 ○躯幹部・四肢造影  ☆本剤は、プロトン緩和時間の短縮作用をもつ、環状型非イオン性MRI用造影剤である。

[再生医療等製品]

薬効分類番号	商品名（社名）	薬価¥	成分・含量	* 効能・効果
指定再生医療等製品	<b>アクーゴ脳内移植用注</b> (サンバイオ)	72,716,528/回	成分名：バンデフィテムセル ヒト（同種）骨髄由来間葉系幹細胞（組織採取国：米国）に、Notch-1タンパク質の細胞内ドメインをコードする遺伝子を含むプラスミドを導入し、凍結保存した脳内移植用細胞剤 12.5×10 <sup>6</sup> 個（生細胞）/バイアル（1 mL） ※4バイアルから構成される。	<b>* 外傷性脳損傷に伴う慢性期の運動麻痺の改善</b>  ☆本剤は、神経細胞の修復作用をもつ、ヒト体性幹細胞加工製品である。
指定再生医療等製品	<b>アムシェプリ</b> (住友ファーマ)	55,306,737 /18瓶1組	成分名：ラグネプロセル 非自己iPS細胞由来ドーパミン神経前駆細胞 1×10 <sup>6</sup> 個/チューブ（1 mL）	<b>* レボドーパ含有製剤を含む既存の薬物療法で十分な効果が得られないパーキンソン病患者の運動症状の改善</b>  ☆本剤は、ドーパミン神経前駆細胞の移植後に分化・成熟したドーパミン神経細胞によるドーパミン増加作用をもつ、ヒト人工多能性幹細胞加工製品である。
再生医療等製品	<b>ゾルゲンスマ髄注</b> (ノバルティス)	167,077,222 /患者	成分名：オナセムノゲン アベパルボベク アデノ随伴ウイルス9型（AAV9）のカプシドを有するヒトSMNタンパク質を発現する非増殖性遺伝子組換えアデノ随伴ウイルス 1.2×10 <sup>14</sup> ベクターゲノム（vg）/バイアル（3.0 mL）* *）注射液吸引時の損失を考慮し、1バイアルから 3.0 mLを注射するに足る量を確保するために過量充填されている。	<b>* 脊髄性筋萎縮症</b> <b>ただし、抗AAV9抗体が陰性の患者に限る</b>  ☆本剤は、運動神経細胞生存（SMN：survival motor neuron）遺伝子補充作用をもつ、ウイルスベクター製品である。